

次世代型商店街形成支援事業費補助金要望書

提出日 令和7年4月22日

1 事業者名	〇〇商店街振興組合	
2 担当者職氏名	宮城 太郎	
3 連絡先	TEL : 022-211-2746 FAX : 022-211-2749 E-mail : syokokins@pref.miyagi.lg.jp	
4 補助事業について		
補助事業の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ビジョン形成	・ 課題解決 ※該当事業を□で囲むこと
重点支援枠への該当	<input type="checkbox"/> 有	・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※該当区分を□で囲むこと ※「空き店舗対策」及び「地域の生活を支える取組」に係る課題解決事業を将来的に実施する予定の場合は「有」を囲んでください。（ビジョン形成では通常枠と重点支援枠とで補助上限等に差はありません。）
補助事業の概要	将来を見据えた商店街の再形成を目的として、専門家を招いた検討会、ニーズ調査等を行い、商店街のビジョンを策定する。	
5 その他		

※別紙1「事業計画書」（該当する事業区分），別紙2「収支予算書」，別紙3「支出明細書」を添付すること。（事業の詳細等が決まっていない場合は、概要・概算額を記載願います。）

別紙1（ビジョン形成に係る事業計画書）

事業計画書

申請者名：〇〇〇

1 事業者の概要

事業者名	〇〇商店街振興組合				
所在地	宮城県〇〇〇〇〇				
代表者名	宮城 太郎	組合員(会員)数	〇〇人	設立年月日	昭和〇〇年〇月〇日

2 商店街等の概況

当商店街は、昭和〇〇年に結成され、日用品などを提供し地域に密着した商店街として発展を遂げてきた。近年、店主の高齢化により、店を閉める店舗が増加してきている。また、商店街がある地域においても少子高齢化が進んでおり、買い物客の減少、買い物客の高齢化という課題にも直面している。

3 商店街活性化のコンセプトと事業の目的・ねらい

少子高齢化が進んでいる地域のニーズに合わせた商店街づくりが必要であり、高齢者の生活に必要な日用品の購買機会を維持し、安心して集える新たな商店街の形成を目指していきたいと考えている。

4 事業の内容

(1) 事業実施期間

令和7年8月 ～ 令和8年3月

(2) 実施内容

- ・商店街の新たな将来像を描くために、月1回商店街メンバーによる検討会を開催する。検討会では、商店街の現況や現在の取組の洗い出しを行い、現在の姿を明確にする。必要に応じて検討会には行政、まちづくり会社、商工会に参加してもらい、広く意見を聴取する。
- ・商店街の現状、課題の分析、地域のニーズ把握に当たっては、〇〇に業務を委託して実施する。
- ・検討会の実施に併せて、商店街の活性化に明るい専門家を招き、現状と課題の分析、将来像の描き方、今後展開していくべき事業について幅広い知見から意見を頂戴する。

(3) 実施体制

- ・商店街の主要なメンバー〇人による検討会を実施。
- ・将来を担うと考えられる若手も検討会には参加してもらう。

記載例（ビジョン形成）

- ・地域の活性化に関する取組を行っているまちづくり会社、一般社団法人等と連携して取組を実施。
- ・地域のニーズ調査は上記のほか、地域住民に対しても実施する。実施に当たっては地元町内会と連携をし、調査票の作成、とりまとめ等は〇〇に委託。

（４）現段階で想定しているビジョンの記載項目

- ・商店街の概要
- ・商店街を取り巻く環境
- ・商店街の現状と課題
- ・商店街のビジョン（将来像、目指す姿）
- ・ビジョン実現のための運営体制
- ・事業計画（今後行っていく具体的な取組）

（５）事業実施スケジュール

- ・８月から月１回検討会を実施する。
- ・９月に地域のニーズ調査を実施する。
- ・９月、１２月、２月の検討会では、専門家を招き、課題分析や商店街の将来像、今後行っていく具体的な取組の方向性について意見をもらう。
- ・２月、３月で商店街ビジョンをまとめる。

５ その他の添付種類

- （１）事業の対象となる商店街等の区域が分かる資料（地図等）
- （２）事業者の概要及び活動内容が分かる資料（定款、構成員名簿、事業報告書等）
- （３）事業内容が分かる企画書（必要に応じて）
- （４）業務委託に係る見積書
- （５）市町村支援表明書（市町村の商業振興担当課に作成いただくこと）

収 支 予 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分	金 額	備 考
県 補 助 金	1,033,333	
自 己 資 金	656,667	
そ の 他		※国及び地方公共団体の補助金を充当する場合は事業名を記載
計	1,690,000	

(支出の部)

(単位：円)

事業区分 (ビジョン形成) (課題解決(ソフト)) (課題解決(ハード))	経費区分	補助事業に 要する経費 (a)	補助対象 経 費 (b) (≦(a))	補助金申請額 (c) ビジョン形成 (≦(b)×2/3) 課題解決(ソフト) (≦(b)×2/3) 課題解決(ハード) (≦(b)×1/2)	備 考
ビジョン	謝金	150,000	150,000		
〃	旅費	110,000	100,000		
〃	委託費	1,100,000	1,000,000		
〃	事務費	330,000	300,000		
合計		1,690,000	1,550,000	1,033,333	

※行が足りない場合は適宜行を追加すること。

支 出 明 細 書

（単位：円）

事業区分 （ビジョン形成） （課題解決（ソフト）） （課題解決（ハード））	経費区分	内 容	数 量	金 額	備 考
ビジョン	謝金	専門家謝金	3 回	150,000	1 回 50,000 円 × 3 回
	旅費	専門家旅費	3 回	110,000	
	委託費	ニーズ調査及び分析	1 回	1,100,000	〇〇に委託
	事務費	会議費、会場借料、 印刷製本費	会議 8 回	330,000	会場借料 11,000 円 × 8 回 会議資料 22,000 円 策定した商店街 ビジョン印刷費 220,000 円
合計			1,690,000		